


料金後納郵便
転送不要

大腸がん 検診のお知らせ



国立がん研究センターがん予防・検診研究センター
検診研究部長 斎藤博先生

〇〇市より約0,000円の助成があります。

大腸がん検診（検便）は助成がない場合、4千円程度かかる検査ですが、市の検診を受けると、市から約0,000円の助成を受けてのことになります。（自己負担0円）

検査費用 約0000円
一助成金 約0000円
自己負担金 0000円

今年度の受診期間は、平成25年09月01日

〇〇市 健康福祉部 〇〇〇課
〒000-0000 〇〇〇〇〇〇〇〇-00-0
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000

斎藤医師に聞きました。大腸がんについて、大事なポイント

「早く見つけて、早く治す」ことが大切。早期のうちに治療すれば90%以上が治癒します。

大腸がんは、早期で発見すれば、多くの場合負担の少ない内視鏡での手術（入院は2〜3日、または必要なし）で治療が可能です。しかし、進行してがんが腸などに遠隔転移した後に発見すると、生存率は大きく下がってしまいます。

5年相対生存率
早期発見した場合 99%
発見が遅くなった場合 15%

大腸がんは、早期のうちに治療すれば、90%以上が治癒します。

大腸がんは、早期のうちに治療すれば、90%以上が治癒します。

大腸がんは、早期のうちに治療すれば、90%以上が治癒します。

料金後納郵便
転送不要

最後に「胃がん検診」を受けたのは、何年前ですか？

安心のために、年に一度は胃がん検診

〇〇市 福祉保健部 健康推進課

今年度は、〇〇市より0,000円の助成があります。

胃がん検診は助成がない場合も0,000円程度かかりますが、市から助成があるため、自己負担0円です。

■対象者：〇〇市在住の40歳以上の方
■受診期間：平成〇〇年〇月〇日〜平成〇〇年〇月〇日まで

検査費用 約0,000円
一助成金 約0,000円
自己負担金 0,000円

〇〇市 健康福祉部 〇〇〇課
〒000-0000 〇〇〇〇〇〇〇〇-00-0
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000

胃がん検診は胃カメラではなく、バリウムによるX線検査です。10分ちょっとで終わります。

早期の胃がんは、ご自分ではまず気づきません。見つけられるのは、専門家だけです。胃がんは「なりやすい」がんですが、「治しやすい」がんでもあります。早期に見つければ、97.1%治ります。

今どきのバリウムは、たったこれだけです。

1歳（早期がん）生存率 97.1%
10歳（進行がん）生存率 7.6%

料金後納郵便
転送不要

肺がん検診のお知らせ

一年に5分ください。

〇〇市 福祉保健部 健康推進課

〇〇市にお住まいの30代の女性へ

子宮頸がん検診のお知らせ



〇〇市 福祉保健部 健康推進課

今年度は、〇〇市より0,000円の助成があります！

子宮頸がん検診は助成がない場合、一方を兼ねた高感度検査ですが、市の検診を受けると約0,000円の助成があります。（自己負担金0円）

検査費用 約0000円
一助成金 約0000円
自己負担金 0円

今年度の受診期間は、平成25年09月01日〜平成25年09月31日まで

〇〇市 健康福祉部 〇〇〇課
〒000-0000 〇〇〇〇〇〇〇〇-00-0
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000

肺がん死の2人にひとり、たばこが原因とはいえません。喫煙者でも受動喫煙者でもありません。

肺がんの原因（男女）

喫煙者 37%
受動喫煙者 63%

肺がんの発症年齢（男女）
喫煙者 60%
受動喫煙者 40%

たばこを吸わなくても、肺がん検診を。

〇〇市 健康福祉部 〇〇〇課
〒000-0000 〇〇〇〇〇〇〇〇-00-0
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000

肺がん検診では、二重撮影が国の基準で定められています。2人の医師が、別々にチェック。

肺がんは、死亡数が男女合わせていちばん多いがんです。肺がんの死亡数 男性 第1位 女性 第2位

初期には自覚症状がほとんどないのが、肺がんの怖さです。

早期に見れば、生存率が5%から81%高くなります。

早期に見つければ、自覚症状がなくても検診を受けることを強くお勧めします。

〇〇市 健康福祉部 〇〇〇課
〒000-0000 〇〇〇〇〇〇〇〇-00-0
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000

30代は、最も子宮頸がんになりやすい年代。

子宮頸がんは、早期のうちほとんど自覚症状がありません。

子宮頸がんは、早期のうちほとんど自覚症状がありません。

子宮頸がんは、早期のうちほとんど自覚症状がありません。

5年相対生存率
早期発見した場合 92.9%
発見が遅くなった場合 23.3%

子宮頸がん検診は3年に1回必ず受診して下さい。

〇〇市 健康福祉部 〇〇〇課
〒000-0000 〇〇〇〇〇〇〇〇-00-0
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000